八木健の川柳アート

89

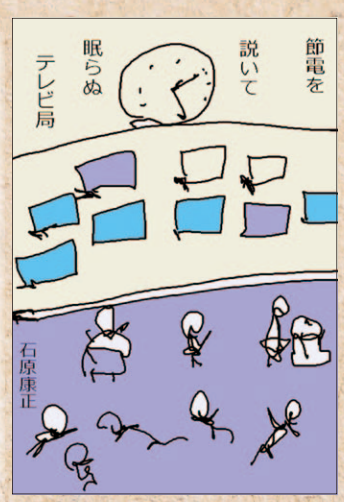
選者・川柳アート
八木健（月刊川柳総合誌「川柳マガジン」元選者）

特選

勝って泣き負けて泣くのが日本流

「負けて泣きが少し大目のジャパニーズ」「肝心のところでコケタ日本人」「手の届く金色取りそこなっちゃった」。遺伝子操作で強い選手作る？　冗談。

武井　基次（松前町）



節電を説いて眠らぬテレビ局

テレビ局は立場上、節電を説く。それなのに、放送を止められない。なるほどね。それに時差があるからオリンピックも深夜放送になる。勝手になさい。

石原　康正（松山市）

佳作

韓国に来たかと思うテレビ欄

韓国ドラマ全盛の端緒は、ＮＨＫの「冬のソナタ」。岡田円治氏が周囲の反対を押し切って輸入した。民間レベルの韓日友好の最大の功労者。文化勲章をあげたいね。

徳本　睦英（松山市）

バーゲンは熟慮の隙を与えない

熟慮しているうちに買いそびれますからね。見ないで買って持ち帰る。あれれ、どの品もすでに持っているものでしたか。別のバーゲンに行きなさい。

的場てるみ（松山市）

螺子巻けば現役昭和の古時計

ボンボンという懐かしい音。多少の狂いは仕方ない。爺ちゃんも、まだまだ使えるんだよ。ちょっと油をさしてやれば十分働くよ。爺ちゃん、油ってお酒のこと？

西野　周次（松山市）

モンゴルへ支店出したい国技館

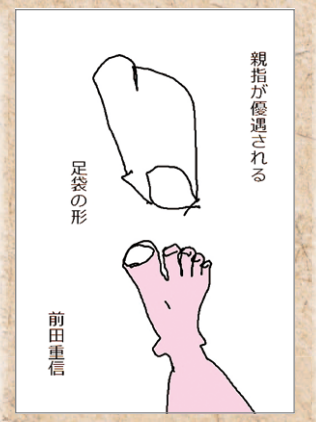
どなたでした？「国技館」じゃなくて「外国技館」だと言ったのは。オリンピック種目に入れてもらうがいい。おそらく「相撲発祥の国・日本、予選敗退」となるやも。

大政　利雄（松前町）

膝の猫たまにゃネズミを食わせたい

ネズミを捕るから猫を飼ったのでしたね。忘れてました。それで捕ったネズミはどうしたのですか。猫が食べたのです。ホントですか。猫に尋ねてごらん。

藤原　白男（今治市）



親指が優遇される足袋の形

下駄や草履を履くのに鼻緒を挟むでしょ。仕方ないじゃん。モノには歴史と伝統が息づいている。だから、五本指の足袋で日本舞踊を踊るなんてイヤ。

前田　重信（愛南町）

ひろば OCT.

ストレス解消法

愛　美（松山市・69歳）

傷つくことがあった。落ち込む、涙がこぼれる、気持ちをノートに書いても治まらない。お茶とおにぎりとアメを持って、近くの里山へ。初めての道を歩く。お寺に立ち寄ったり、大池で遊ぶカモを眺める。知らない人とあいさつを交わし、鳥の声を聞きながら歩くうちに、心がほんわかとしてくる。高台で街並みを眺めながら、おにぎりをほおばる。また歩く。お遍路さんの気持ちが少し分かった1日だった。さて胸のトゲは何本抜けたか？　明日も歩こう！

誕生日

コスモス（四国中央市・74歳）

誕生日。「今日というめでたい日に直接お祝いできず残念です。節目を迎えられ、贈り物をできることに感謝です。元気で長生きしてください」とメッセージとお花が届いた。社会人になった女孫が給料で買ってくれたお花に胸がキュンとなり、感動と涙。「私のおばあちゃんでいてくれてありがとう」と中3の女孫の手紙にも涙。孫たちからの「ハートメール」に幸せと元気をもらい、涙腺がゆるむ忘れられない誕生日プレゼントだった。

高校時代のお弁当

北　草（松山市）

年齢とともに、今年も猛暑がきつかった。毎日の食事作りに少々イライラ。おまけに38歳になる息子はいまだ独身で居座っている。その息子が何を思ったのか、「高校の時、お弁当のおかずの多さと彩りがいいと、友達からうらやましがられていた」とポツリと言った。20年も前の話なので、「あら、そうだったの」と何気なく返事をしたけど、本当はワーッと両手を上げ、大喜びしたかった。心の中が、母親にしか分からない幸せ感に包まれた。

お便り募集

○川　柳

テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やＣＧを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。

○ひろば

エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。

川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。

※ご応募いただいた個人情報は、適切に取り扱います。

〒790-8511　松山市大手町1丁目12-1
アクリート編集室　通信係
Eメール　accrete@enp-sc.jp